

海老名市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況

区分	令和元年度～ 令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額(円)	29,944,691	11,442,000	41,386,691	59%	危険木の伐採、森林での体験学習等を行うツアーの開催、 学校等への木製什器の整備に充当。
譲与額(円)	54,968,000	15,325,000	70,293,000		

■令和6年度の具体的な活用状況

事業区分	事業名	事業費(円)		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	街区公園等整備事業費	2,552,000	2,552,000	公園施設の森林において、道路や住宅地に隣接し、倒木の恐れや倒木時に道路や住宅に被害を及ぼす樹木を中心に、伐採や剪定を実施した。
	緑地維持管理経費	2,931,500	2,931,000	緑地(森林)において、道路や住宅地に隣接し、倒木の恐れや倒木時に道路や住宅に被害を及ぼす樹木を中心に、伐採や剪定を実施した。
木材利用および普及啓発	小学校維持管理経費	3,656,400	3,656,000	市内公立小学校13校に、木製テントを整備した。また、国産木材を使った児童用机の天板を整備した。
	小学校教育研究事業費	757,448	757,000	「災害時における相互応援に関する協定」により交流のある新潟県新発田市を海老名市内の小学生が訪問し、「SHIBATAスタディ・ツーリズム」に参加する。防災キャンプのレクレーションの中で、森林等の豊かな自然に触れ、災害発生時等において生き抜く防災行動力を身に付けるとともに、有機栽培とスマート農法等を学び、森林整備活動や森林環境への理解を深めた。
	小学校校行事活動事業費	1,546,392	1,546,000	森林環境に関する理解を深めるため、「災害時における相互応援に関する協定」により交流のある長野県須坂市を海老名市内の小学生等(小学1・2年生とその保護者)が訪問し、林業の体験事業を通じて森林環境が生活に与える影響を学び、森林環境保全意識の普及啓発を行った。
合計		11,443,740	11,442,000	

■今後の主な活用計画

森林整備

・公有林内の危険木伐採

木材利用および普及啓発

・協定により交流のある地域を小学生が訪問し、森林での体験学習を行う
・学校等への木製什器の整備